

簡易酵素反応試薬

α グルコシダーゼ試薬



商品概要

嫌気性菌同定検査は、キット、質量分析装置にて広く実施されています。

但し、嫌気性グラム陰性桿菌は、生化学的性状にて判定できるケースもある。例えば、BBE寒天培地でエスクリン加水分解を認めない場合は、α-グルコシダーゼ試験を実施する事により、*Bacteroides*属と*Fusobacterium*属の鑑別が可能となります。

*Bacteroides*属は、90%以上がβ-ラクタマーゼ産生菌であるため、迅速な鑑別は適正な抗菌薬の選択にもつながります。

α-グルコシダーゼが陽性の菌種には、*Bacteroides fragilis*、*Bacteroides thetaiotaomicron*、*Parabacteroides distasonis*、*Phocaeicola vulgatus*、*Prevotella bivia* 等があります。陰性の菌種には、*Porphyromonas asaccharolytica*、*Fusobacterium nucleatum*、*Bilophila wadsworthia*、*Desulfovibrio desulfuricans*等があります。

品番	容量	価格（税抜）
SG-A-GLU	2ml	4,500円

※冷暗所保存（1℃～15℃）

使用方法(マイクロチューブを利用)

- 1 マイクロチューブに20~50 μ lの滅菌水を入れます
- 2 爪楊枝等でコロニーを適量とり懸濁し、濃厚菌液(Mcfaeland No.6以上)を作成します
- 3 懸濁液に等量の α -グルコシダーゼ試薬を入れ、混合します
- 4 35°C~37°Cにて10~15分インキュベートします
- 5 UVライトを照射し蛍光(青白色)の有無を確認します

使用方法(ろ紙を利用)

- 1 シャーレに適切なサイズに切ったろ紙を2片用意します
- 2 1片のろ紙に α -グルコシダーゼ試薬をしみ込ませます
- 3 集落を爪楊枝等で多めに取り、ろ紙にこすりつけます
- 4 残りのろ紙片に蒸留水をしみ込ませ(保湿のため)、シャーレに蓋をして35°C~37°Cで10~15分インキュベートします
- 5 UVライトを照射し蛍光(青白色)の有無を確認します

判定(マイクロチューブ・ろ紙共通)

陽性：青色蛍光 陰性：蛍光なし

〈製造〉

株式会社アクテック
〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町小室7044番地

〈販売〉

株式会社スギヤマゲン
〒113-0033 東京都文京区本郷2-34-9
TEL:03-3814-0285 FAX:03-3815-3045